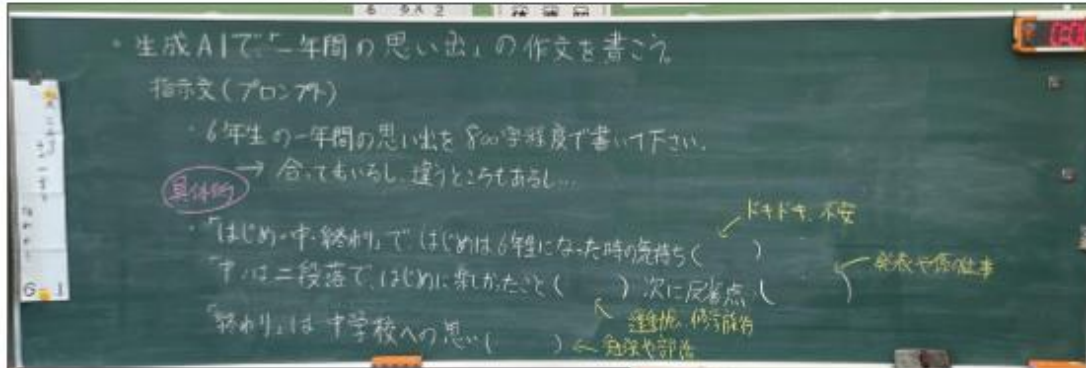


リーディングDXスクール事業【実践事例】

沖縄市立北美小学校（沖縄県）【協力校】

＜校務利用＞ ③「一年間の思い出：作文利用」

校種	小・中・高	校務	授業	みんなの生成AI	テキスト生成、画像生成、動画生成	実践タイトル：対話型生成AIを授業で活用(国語)
----	-------	----	----	----------	------------------	--------------------------



(はじめ) 六年生になったときの気持ちは、とてもワクワクしていました。小学校最後の学年であり、新しい挑戦や成長の場でもあることに期待と緊張が入り混じっていました。友達と一緒に新しいクラスへ移動する瞬間は、未知の世界への一歩を踏み出す感覚がありました。

(なか) この一年間、たくさんの楽しいことがありました。クラスメイトとの笑い合いや、友情を深める時間はとても楽しかったです。遠足や学校行事では、みんなで協力して活動することで、一体感を感じることができました。また、新しいことに挑戦する機会もあり、自分の成長を実感することができました。

一方、反省点もありました。時には宿題を忘れてしまったり、授業に集中できなかったりすることがありました。自分自身に対してもっと責任を持ち、取り組むべきことに真剣に向き合う必要があると感じました。これからの中学校生活に向けて、反省点を改善していきたいと思っています。

生成AIの考えた文章を自分が半書きしを入れて、簡単に作文を書けるということがすごいと思ったけれど、生成AIの使い方によって、出てくるものも違うのかなと思いました。

生成AIは3000字の文章を付けてすごいです。

800字を早く書いてくれてすごいです。

生成AIは、内容をより詳細に指定することで、その指定に合った文章を作ってくれて、自分で書くよりも早く作成できるということを知って、楽しい、と思った。

【パイロット的な取組の段階】
③各教科等の学びにおいて積極的に用いる段階

【実践概要】
一年間の思い出の作文の土台を生成AIを活用して作成し、プロンプトの重要性を実践を通して学ぶ。
生成AIが作成した文章を添削し、よりよい文章にする。

【入力したプロンプト】
・6年生の一年間の思い出を800字程度で書いてください。
→ありきたりな文章
・「はじめ・なか・おわり」で、「はじめ」は、6年生になった時の気持ち(どきどき)。「なか」は2段落構成で、最初は楽しかったこと(修学旅行)次は反省(あいさつができなかった)。「おわり」は中学校へ向けての期待(勉強や部活:バスケット部)。
→より具体的な内容
※()内は、各自の具体的な内容

実践のふり返り(【成果】実践した効果や児童生徒の反応や校務改善に繋がりそうな視点など、【課題】改善点や今後の工夫点等あれば、記載下さい。)
【成果】たたき台を生成AIに作成してもらうことで、作文が苦手な児童も意欲的に活動できた。
【課題】プロンプトによって、内容が大幅に変わるので段落指定や各段落の内容等具体的なプロンプトを考える必要がある。